

大学名	京都市立芸術大学
事業名	<p>キャンパス移転を契機とする国際交流の推進</p> <p>—京都芸大：外に開かれた「テラス」のような大学を目指して—</p>
事業概要及び達成目標	<p>○ 事業概要</p> <p>京都市立芸術大学は、「少人数教育」と「横断教育」を特徴とする芸術大学である。本学では「国際的に活躍できる創造的な人材の輩出」を国際化の目標に掲げ、開学以来、世界で活躍する芸術家育成に努めてきた。</p> <p>国際化の取組については、従前から、学部、研究科及び研究機関が主体となり、学生の相互交流や外国人講師による特別授業等を行ってきたが、大学全体の取組としては十分ではなかった。</p> <p>こうしたなか、本学は2023年10月に京都駅近くにキャンパスを移転した。この新たな立地を生かし、外に向かって開かれ多様な人々が往来できる「テラス」のような大学を目指すうえで、大学を挙げた国際交流の推進は急務となっている。本事業により、海外の協定締結大学との交流促進や、留学生受入環境整備を行い、「文化芸術都市・京都」の芸術大学として、世界の学生に門戸を広げようとするものである。</p> <p>○ 令和5年度の取組概要</p> <p>令和5年度は以下の5つの事業に取り組んだ。</p> <p>① <u>サマースクールの企画・PR（新規）</u></p> <p>2024年夏に第1回のサマースクールを開催することとし、2023年度は、前年度に引き続き企画に関する調査を行うとともに、広報資料として英語版広報パンフレットを制作した。</p> <p>② <u>留学生向け日本語講座の開催（大学負担）</u></p> <p>昨年度に引き続き、日本語講座を開催することにより、留学生の日本語学習の継続化を促進し、研究支援につなげた。</p> <p>② <u>留学生の成果発表会の年2回（前期・後期）開催（拡充）</u></p> <p>相互の文化理解の促進および日本人学生の海外留学促進や海外提携大学より本学への留学にもつなげるべく、成果発表会及び関連イベントを年2回（前期・後期 各1回）実施した。</p> <p>④ <u>芸術資源研究センターにおける重点研究「京都芸大国際交流アーカイブ」の継続（継続）</u></p> <p>2021年度から新規事業として取り組んだ、本学芸術資源研究センターにおける重点研究「京都芸大国際交流アーカイブ」を継続して進めた。</p>

⑤ 「国際交流ステーション」の新設

京都市立芸術大学における国際交流の機能強化のため、新規に3台掲示板を購入し、学内の4箇所に「国際交流ステーション」を新設した（掲示板1台は既存のものを流用）。

(2) 事業成果

来年度開催予定の「国際交流サマースクール」のため、英語版大学広報資料を作成した。今後、提携校を中心に配布し、来年度のサマーアートのPRを行う予定である。

留学生向け日本語講座について、今年度は11月～12月上旬にかけて計8日間でアーティストのための日本語講座を開講し、留学生が抱える研究発表の際の語学面での課題に取り組んだ。

留学生の成果発表会について、前期はオープンスタジオ、後期は新キャンパスにて、美術研究科の交換留学生による「留学生展」を開催した。前期・後期ともに関連イベントである国際交流パーティを開催し、交換留学生による発表を行った。また、その模様を動画・写真で記録した。

「京都芸大国際交流アーカイブ」について、研究の一環として、在学中に交換留学制度を利用し、海外で学んだ経験を持つ卒業生2名を招き、現在のキャリアと留学経験について意見を交換するイベントを開催した。その記録を本学国際交流ウェブサイトにおいて発表する予定である。また、紙媒体のみで記録されていた過去の交換留学の記録を電子化した。

○ 達成目標（※上段が当初目標値、下段が実績値）

指標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
協定校数	23	25	27	29	30
	23	23	23	23	
受入留学者数 (交換留学生)	14	14	14	22	25
	0	0	11	9	
国際的に活躍する講師による特別授業の回数	15	15	15	20	24
	0	0	3	7	

リンク先

URL <https://intl.kcua.ac.jp/>（京都市立芸術大学国際交流ウェブサイト）